

広報・提言ワーキンググループの開催

9月4日(金)に広報・提言WGの打合せが、Web-EXによるリモートで開催されました。今回は、事務局を含め15名の参加でした。

今回は、今年度の提言のテーマについて検討され、昨年度まで引き続き提言しているHPCI利用の利便性の更なる向上について提言することが決まりました。更に今年度は、追加の課題として富岳の重点プロジェクトや、Society5.0の実装に向けて、エコシステムの具体化等について検討されました。全ての課題を今年度の提言として取り上げるのは、難しいとは思いますが、富岳の一般利用開始に向けて、産業界からも様々な期待が寄せられており、今後幾つかの課題について深堀し、来年春には提言として公開したいと考えております。

主査会の開催

9月17日(木)に今年度第2回目となる主査会をWeb-EXによりリモート開催しました。今回の出席者は、事務局を含め9名でした。

今回の主査会では、各WGの活動状況、計画の報告を行った後、8月、9月に実施した、各正会員企業へのニーズヒアリングの結果を元に、中期事業計画について検討を行いました。中期事業計画については、12月開催予定の運営委員会に向け、今後、5年先の産応協のあるべき姿を描き、考え得る課題と戦略を整理して行き、運営委員会の承認を得た後、来春には事業計画としてマイルストーンに落とし込む予定です。

第47回産応協セミナーの開催

第47回産応協セミナーが、9月23日(水)、24日(木)の2日間にわたって開催されました。今回は、ご案内申し上げた通り、コロナ禍の影響を受け、初のWebinar形式による開催でした。そのため、従来は半日で5人の講師の方にお話し頂く産応協セミナーを、受講者の負荷を考え2日間に分けて、ゆとりをもって開催いたしました。参加者数は、従来のように会場の収容限度もないため、初日78名、2日目87名と大変盛況で、懸念していたような回線トラブル等も全く無く、大変スムーズな開催となりました。

今回のテーマは、「マルチフィジックス・連成解析及び多目的最適化技術の最新動向」でしたが、どの講座も活発な質問が寄せられ、大変好評でした。

プログラムは、以下の通りです。

《プログラム》

9月23日(水) 13:00~15:45

1. 「実機クリーンエネルギープラントの 大規模連成スーパーシミュレーション」
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 システム創成学専攻 副学長・教授 吉村 忍氏
2. 「トポロジー最適化に基づく革新的デバイス・材料構造設計」
京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻教授 西脇 眞二氏
3. 「電極反応の合理的パラメータ決定と マルチフィジックスシミュレーション」
信州大学先鋭材料研究所 教授 古山 通久氏

9月24日（木）13:00～14:50

4. 「多目的設計最適化の宇宙科学分野での応用事例と 多目的設計最適化技術の最新動向」
独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 准教授 大山 聖氏

5. 「車体構造の複合領域最適化とデータマイニングを用いた設計知見の獲得手法」
マツダ株式会社技術研究所ヒューマン・ビークル研究部門 小平 剛央氏

<p>【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】 住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階 電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp 担当：中川，滝口</p>

以 上